

2014年6月15日～24日 AJDT/IDC国際本部 助川友朗理事長とともに  
ドイツ、オーストリアをまわり、体験してきました。

15日、16日はドイツのダンス教室（所・セントヨハンポンゲー）のクラスを体験。

15時より5時間、2日間で10時間の体験。

種目は、ブギウギ・4時間、ルンバ・1時間、チャチャチャ・1時間、ジュニアクラス・1時間、子どもダンス  
1時間、ディスコフォックス・1時間、ズンバ・1時間。

その後、オーストリアに渡り、OTAKO を4日間の体験。これはオーストリアダンス教師のコンGRESS。教  
師約200名参加。（過去、毎年参加していた「ドイツコンGRESS INTAKO」は教師約1200名参加）

「OTAKO」は日本の10ダンス以外、のウエストコーストスウィング、サルサ、アメリカンステップ、リン  
ディーホップ、ディスコフォックス、などを学習してきました。

また、ON1（オンワン）、ON2（オンツー）の習得。

要するに、カウント1で体重を乗せるか、カウント2で体重を乗せるかの違い。

ルンバ、チャチャチャ、ブギウギはON2。ディスコフォックス、リンディーホップはON1。

日本のダンス界、全国的にダンス人口の減少と高齢化。これは我々JDSFはじめ、プロ団体（競技ダンス団体、  
教師団体を含む）の取り組み方、考え方を変える必要があると思う。

今の日本、ダンスを習うとしたら費用が高い、靴が必要、服も要る、当然、敷居が高いと言われる。

ヨーロッパでは結構 若者がダンスを習っている。比較的、簡単にダンスが習えるようなシステムになっている。  
ブルース、サルサ、メレンゲ、ディスコフォックス、ブギウギ、バチャータ、フォックストロット（SFTでは  
ありません）など。

JDSFではW・T・R・Cが指導員の習得種目。ここから変えるべきだと思う。今のサークルでは初心者はほ  
とんど入ってこないが、入ってきたら何から教えますか？

ダンスの習い始め、「入口」は「競技」ではなく「社交ダンス」です。

ブルース？ジルバ？ マンボ？（チャチャチャの音楽で離れて踊る？指導？？）これはあり得ない。マンボはマ  
ンボの曲で、ダブルホールドか、クローズド。常識デショ？

大阪府DSFの一部役員は、チョー初めてのの方に1時間でブルース、ジルバを指導し、踊れるようにする自信が  
あります。

これはAJDT/IDC 指導メソッドによるものですが・・・。

大阪府DSFでは（JDSF本部も・・・）月1回、東京の AJDT/IDC国際本部 助川友朗理事長に協  
力依頼し、『楽しいダンスの普及』を目指し、ダンス人口減少に少しでも歯止めがかかるよう、微力ながら上記  
種目を含め、初心者指導法の習得学習に力を注いでいます。

皆さんも機会があれば10ダンス以外のダンスを習得してみませんか？音楽に合致した楽しいダンスは  
『目からウロコ』が落ちるのがわかりますよ！ホント！

## AJDT / IDC 国際本部HPより抜粋

国際ダンス本部では、EU 各国と業務協定を結び、『国際ダンス教師資格認定業務』を実施しており、国際的なダンス教師協会として世界的に認知されています。旧来の日本方式とはまったく異なったカリキュラムと教授法を採用し、誰でも気軽に踊れる社交ダンスを啓蒙・普及しています。

中高年を元気にする「全国マンボ・ジルバ大会」、ワールドスタイル・ダンスパーティーなどの様々なダンスイベント、各種セミナー、高齢者施設でのダンスレッスンの開催に加え、INTAKO(国際ダンス教師公式会議)の構成団体としての会議への参加や、ワールドソシアルタンゴ選手権への審査員派遣等、海外からの要請に応じて国際活動も行っています。

国際ダンス教師資格会員数：約 500 名（2011 年 1 月現在）

ワールドスタイルダンスとイングリッシュスタイルダンスは異なります。ヨーロッパ7カ国のダンス教師協会は、ワールド・ダンス・プログラムを基本にワールド・ダンス・カリキュラムを編纂し、その後 EU11 カ国が参加し今日に至ります。

従来のもールーム・ダンスの典型的なレッスンは競技やデモンストレーション、そして検定試験を目的とする内容が主体でした。これは主として教える側のペースでダンスを教えていこうとするものです。ワールド・ダンス・カリキュラムは、これらに加え、あくまでも生徒のニーズに合わせて、生徒のペースで社交ダンスを教えていこうとするものです。ボールルーム・ダンスの持つ規則的な技術事項や競技志向にこだわらず、即興性・実用性・大衆性を主体として、生徒の創造性を引き出し、その能力を伸ばすことに主眼をおいています。ヨーロッパ(EU)各国のダンス教師協会は全てこのカリキュラムでレッスンを行っています。

日本では唯一、AJDT/IDC 国際本部だけが EU 各国と業務協定を結び、ワールド・ダンス・カリキュラムを採用しています。

その他、AJDT / IDC 国際本部HPを参照のこと。

AJDT / IDC 国際本部最新情報は <http://www.dance.co.jp/ajdt/>